世(よ)の改善(かいぜん)は、清(きよ)らかで立派(りっぱ)な行(おこな)いと、
称賛(しょうさん)に値(あたい)する礼儀(れいぎ)にかなった行動(こうどう)を通(とお)して
達成(たっせい)できる。

Book1 1-1-1

ひとびと
おお、バハの人々よ!
げんどう　いっち　ひとびと　みち
言動の一致しない人々の道を
あゆ　ちゅうい
歩むことのないよう注意せよ。

Book1 1-1-2

じつざい　こ
おお実在の子よ!

けっさん　ひ　く
決算の日の来るまでは、

ひごと　なんじみずか
日毎に汝 自らを

はんせい
反省せよ。

Book1 1-1-3

きょうだい
おお、兄弟たちよ！

ことば
言葉にあらずして、

おこな
行いをもちて

なんじ　かざ
汝の飾りとせよ。

Book1 1-1-4

聖き言葉と清らかなる行いは、
聖なる栄光の天国に昇る。

Book1 1-1-5

誠実(せいじつ)であることは、すべての美徳(びとく)の基礎(きそ)である。

Book1 1-3-6

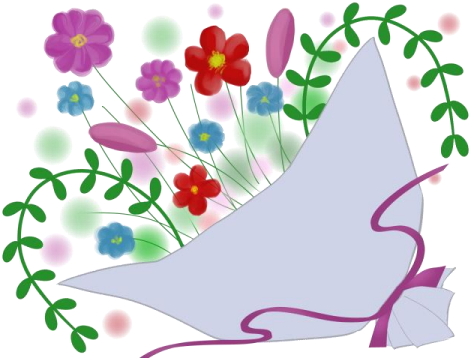
せいじつ
誠実でなければ、

かみ　せかい　しんぽ　せいこう
神のすべての世界における進歩と成功は、

だれ　ふかのう
誰にとっても不可能である。

Book1 1-3-7

ひとびと
おお人々よ。
せいじつ　　くち　　うつく
誠実をもってあなたの口を美しくせよ。
しょうじき
正直をもって
たましい　　かざ
あなたの魂を飾る
そうしょく
装飾とせよ。



Book1 1-3-8

目(め)を清(きよ)らかにし、

手(て)を忠実(ちゅうじつ)にし、

舌(した)を誠実(せいじつ)にし、

心(こころ)を啓発(けいはつ)させよ。

Book1 1-3-9

神の幕屋に住まい、
不滅の栄光の座にある人々を見よ。
空腹のために絶命寸前であっても、
彼らは手を伸ばし隣人の財宝を
不法に奪うことは決してない。
その隣人がいかに卑しく、
価値のない存在で
あったとしても。

Book1 1-3-10

しんせつ　した
親切な舌は
ひとびと　こころ　ひ　つ
人々の 心 を引き付ける
じしゃく
磁石である。
たましい　かて
それは 魂 の糧であり、
ことば　いみ　ころも　さず
言葉に意味という 衣 を授けるものである。
えいち　りかいりょく　ひかり　いずみ
それは英知と理解力の 光 の 泉 である。

Book1 1-5-11

おお主から愛される人々よ!

この聖なる宗教制においては、

不和と争いは絶対に許されない。

攻撃するすべての者は

神の恩寵を失う。

Book1 1-5-12

ひ
この日において、
かみ　あい　　ひとびと　あいだ
神に愛されし人々の間の
ふ わ　あらそ　　ろんそう
不和、争い、論争、
りはん　れいたん
離反、冷淡ほど
たいぎょう　きがい　くわ　　ほか
この大業に危害を加えるものは他にない。

Book1 1-5-13

言葉だけで友情を示すことに
満足してはなりません。
あなたの道で出会う人
全てに対して、
あなたの心を
優しい愛情で
燃え立たせなさい。

Book1 1-5-14

戦いへの思いが湧いた時は、
それに勝る平和への思いで
反対しなさい。
憎しみの思いは、
より強力な愛の思いで
滅ぼさなければなりません。

Book1 1-5-15

かげぐち
陰口は
こころ　ひ　け
心の灯を消し、
たましい　せいめい　ほろ
魂の生命を滅ぼすものである。

Book1 1-7-16

なんじじしんつみびと　　あいだ
汝自身罪人である間は、

たにん　つみ　ささや
他人の罪を囁くな。

Book1 1-7-17

悪(あ)しきことを語(かた)るな。

されば汝(なんじ)に語(かた)られることもなし。

他人(たにん)の過(あやま)ちを誇張(こちょう)して語(かた)るな。

されば汝(なんじみずか)自らの過(あやま)ちも

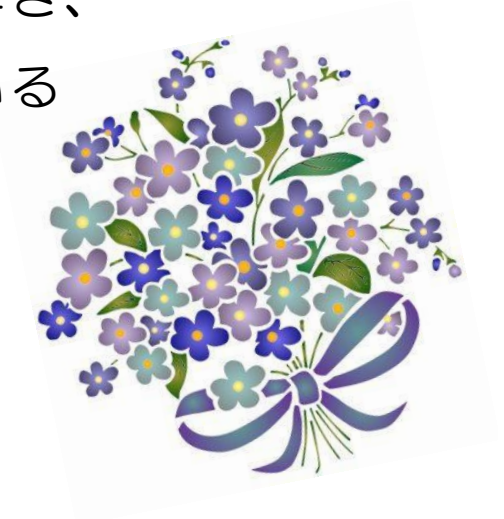
大(おお)げさに思(おも)われず。

Book1 1-7-18

じつざい　こ
おお実在の子よ!
なんじ
いかにして汝、
じしん　けってん　わす
自身の欠点を忘れ、
た　ひとびと
他の人々の
けってん　あ
欠点を挙ぐるに
きゅう　え
急なるを得るや。

Book1 1-7-19

わが言葉(ことば)の大海(たいかい)に身(み)をしずめよ。
汝(なんじ)らがその秘密(ひみつ)を解(と)き、
深(ふか)い所(ところ)に隠(かく)されている
知恵(ちえ)の真珠(しんじゅ)を残(のこ)らず
発見(はっけん)できるように。



Book1 1-9-20